

心臓血管外科、呼吸器外科	
診療科目：心臓血管外科、呼吸器外科	
診療科担当研修責任者名： 土田 正則（呼吸器外科診療科長）	
診療科連絡先担当者名： 白石 修一（心臓血管外科・呼吸器外科エデュケーショナルマネージャー、心臓血管外科診療科長） 後藤達哉（心臓血管外科・呼吸器外科メンター）	
受入期間：1ヶ月以上	同時受け入れ可能数：5人以内
◇◇学会認定専門医数◇◇	
外科学会専門医15人、心臓血管外科専門医8人、呼吸器外科専門医4人	
◇◇学会認定指導医数◇◇	
日本胸部外科学会指導医1人、日本外科学会指導医4人、心臓血管外科修練指導医4人、日本呼吸器外科学会指導医2人	
診療科の概説・特徴	診療科研修の特徴
新潟大学に於ける胸部外科手術は昭和20年代の肺結核手術や閉鎖式心臓手術に始まる。昭和38年に心臓血管外科手術、呼吸器外科手術を担当する現在の形の外科学第二講座が誕生し、以来、新潟県内を中心に最先端で高度の技術、安全な手術を提供し続けてきた。小児心臓外科では、新生児複雑心疾患手術の症例数も多く、国立大学病院屈指の手術件数に達している。また、成人心臓血管外科では従来の開心術に加え、ステントグラフト治療も数多く行っている。呼吸器外科においては切除困難症例の手術に積極的に取り組む一方、鏡視下手術などの手術の低侵襲化にも重点を置き、肺葉切除では完全鏡下手術が標準的な手技となっている。	循環器外科と腫瘍外科を中心とした呼吸器外科という異なる面を持つ診療を行っているが、研修期間では研修医が興味を持っている分野で研修することも、双方の研修を行うことも可能である。チーム医療が基本であり、指導医の下に修練医と研修医というチーム構成になる。常に指導医や修練医と診療を行い、外科的な考え方や手技を重点に研修をする。但し、研修医であっても個々の能力によっては、指導医の指導のもとに術者として手術を行う機会を与える。将来、外科専門医取得を目指す研修医にとっては、当科での研修期間で、当科の分野の手術の必要症例数を経験することが可能である。心臓血管外科は循環器内科、小児心臓内科、放射線診断科との検討会、呼吸器外科は放射線診断科・治療科、呼吸器内科、病理部との検討会を定期的に行っており、それぞれの分野の知識を深めることができる。